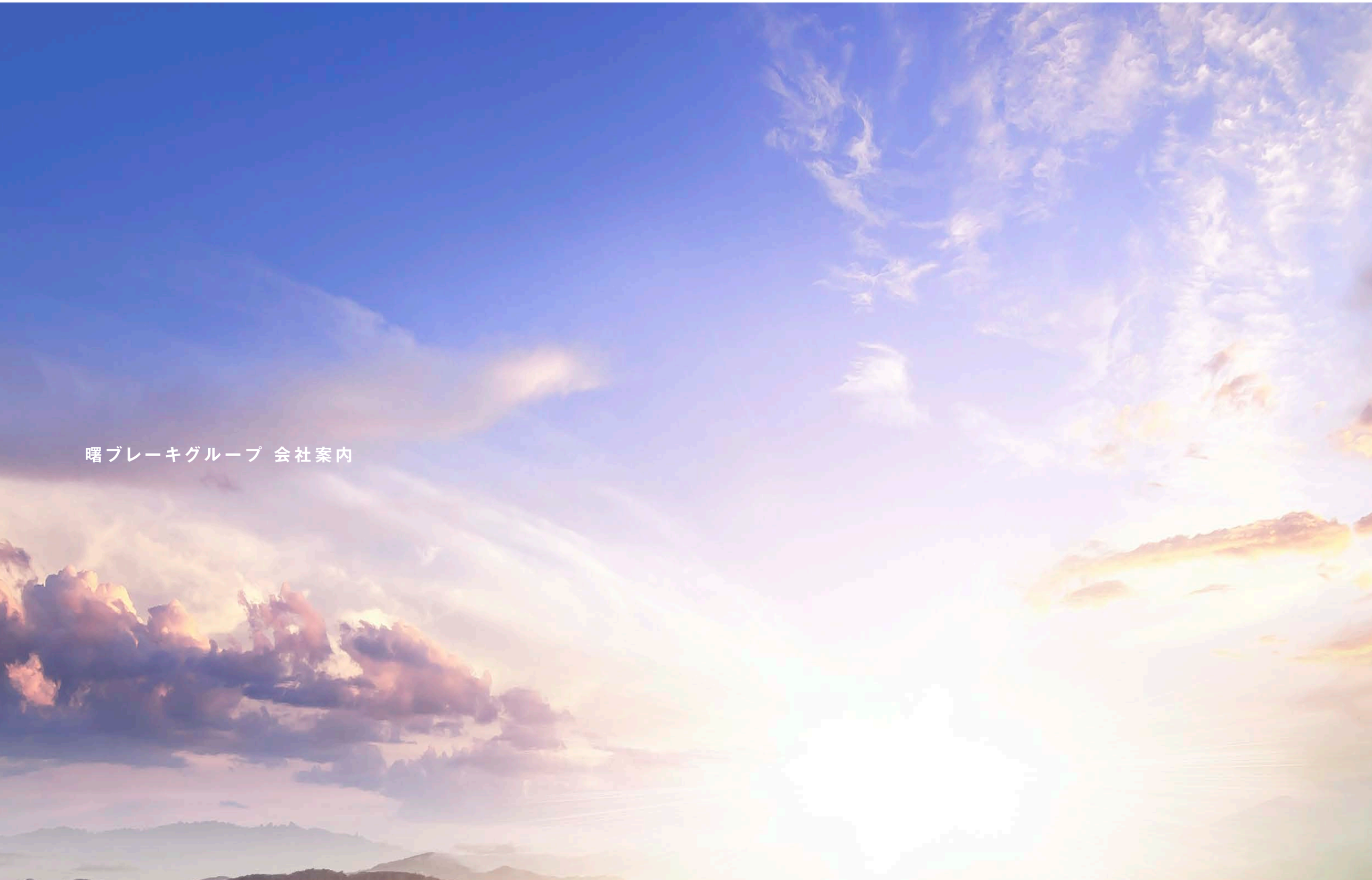
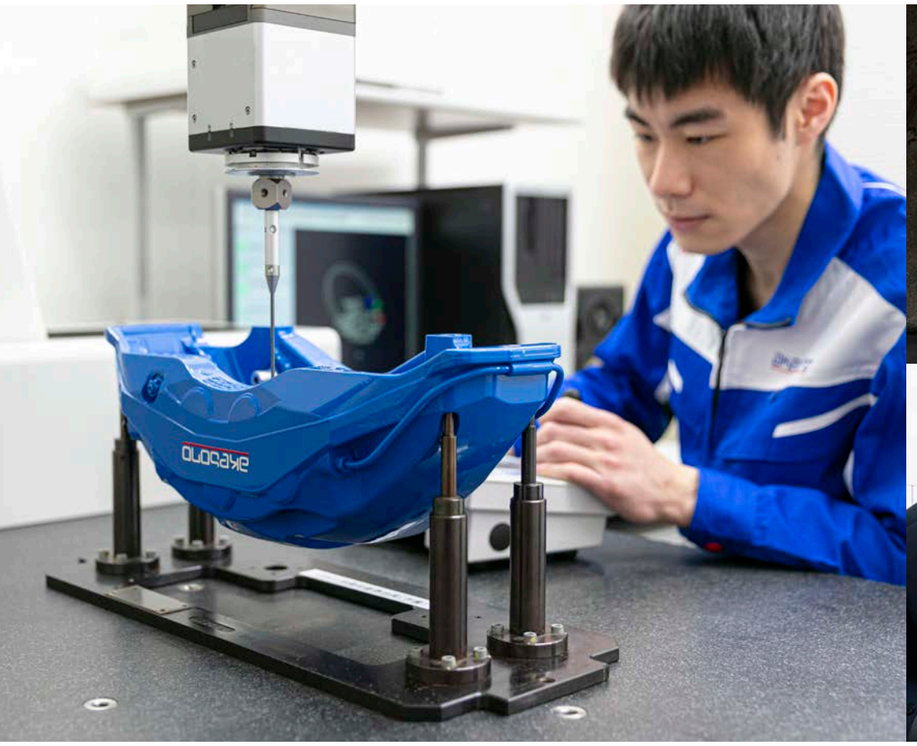
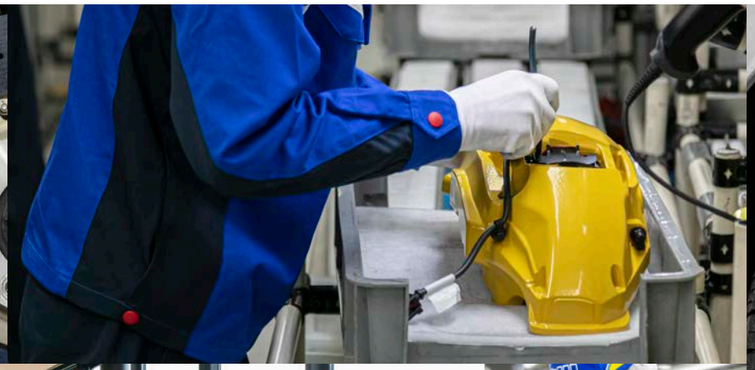
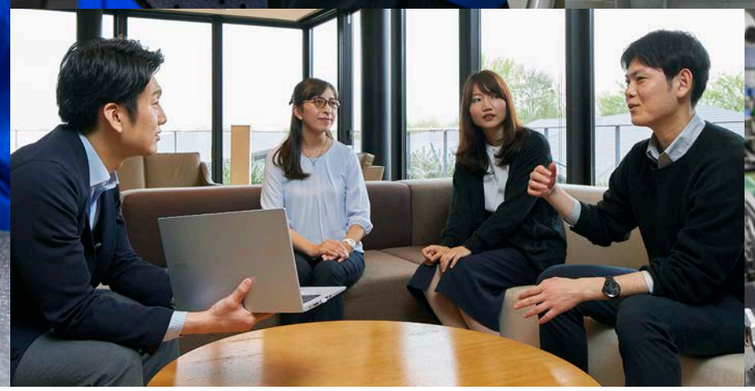
akebono

曙ブレーキグループ 会社案内





総合ブレーキメーカーとしての理念、私たちはそこから未来に続く第一歩を踏み出します。

社是『誠和魂』

「以誠接人」　「以和計事」　「以魂貫志」

（誠をもって人に接し　和をもって事を計り　魂をもって志を貫く）

誠実に人と接すること、人との和をもって物事を進めること、魂をもって志したことをやり遂げること。その大切さを説いたこの社是は、1964年に制定され、同年には現在も続く社内報「誠和魂」（せいわこん）も創刊されました。これにより、社是は今も社員に広く浸透しています。

理念『曙の理念』

私達は、「摩擦と振動、その制御と解析」により、
ひとつひとつのいのちを守り、育み、支え続けて行きます。

akebonoは、グループ全体の求心となる理念のもと、akebonoが進むべき道を示すことが重要と考え、1999年に『曙の理念』を制定しました。
「摩擦と振動、その制御と解析」は、akebonoのコア技術です。「制御」が「解析」の前にあるのは、解析する前に、まず、困っているお客様の問題解決に取り組む、そして、その解析も怠らないというakebonoの姿勢を表しています。
守っているのは人のいのちだけではありません。「ひとつひとつのいのち」には、人間だけでなく、草木に至るまで、地球上のあらゆる生物、引いては地球環境そのものもいのちのひとつとみなし、それらを守り、育み続けていくために、健全な経営のもとで企業価値を創出していくことを定めています。
私たちは、「曙の理念」を実現することで、持続可能な社会の発展に貢献していきます。

将来の飛躍に向けて。
「強い経営体質の実現」と「生き残るために進むべき方向の明示」に取り組む。

曙ブレーキグループは、新たに発足した経営体制のもと、2025年度をスタートさせました。大きな変革期の中にある自動車業界にあって、米国の関税問題や米中の貿易摩擦など、当社グループを取り巻く事業環境は不透明さを増しています。

このような中、当社は、2025年度に重点的に取り組むことを「強い経営体質の実現」と「生き残るために進むべき方向の明示」と定めました。一つ目の「強い経営体質の実現」で目指しているのは、外部環境変化に対する従属的経営から自立的経営への転換です。外部環境変化に左右されていては、この先の厳しい事業環境を乗り越えることはできません。この実現のために、まずは「経営の見える化」に取り組んでいます。

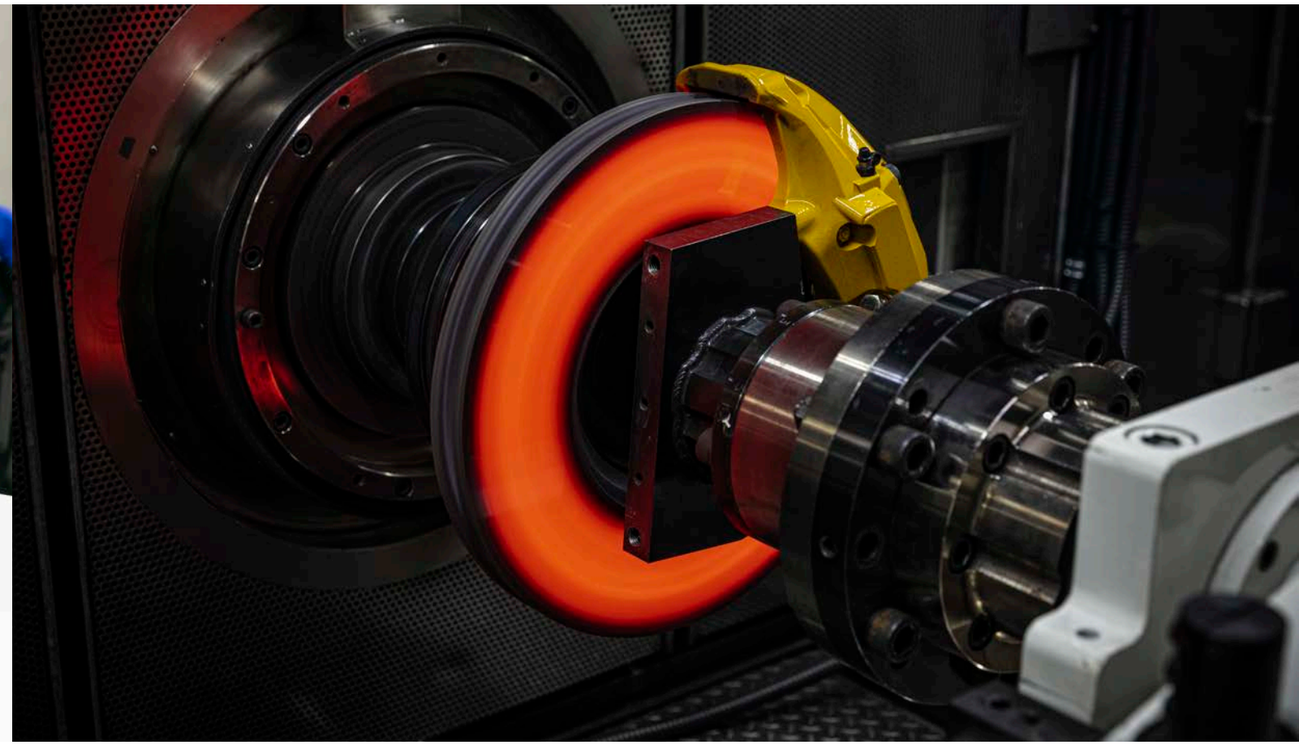
当社は、リファイナンス資金の借入契約を締結し、この調達した資金と手元資金とを原資として、事業再生計画で定められた返済期限である2024年6月末までに借入金を完済し、これにより、事業再生計画期間を終えました。しかしながら、これから、我々は生き残りをかけて経営を立て直していかなければなりません。会社が今なぜこのような状況になっているのか、今後どこに向かうべきなのか、そのためには何をしなければならないのか、それらを数値化して明確にし、明らかにしていくのが「経営の見える化」です。これをしっかり行ったうえで、その結果を経営層だけで共有するのではなく、当社グループ全員が理解をしていくことが必要です。この「経営の見える化」を土台として、経営システム・経営力の確立を進めます。

二つ目の「生き残るために進むべき方向の明示」では、当社が生き残るために何をすべきかを明らかにするべく中期経営計画の策定を進めており、可能な限り早期に皆様にお知らせすることを目指しています。自動車業界の大きな変革期の中で、当社グループはどこへ行くべきなのかを見極め、グループ全員、さらにはステークホルダーの皆さま全員と共有した上で、全社一丸となってその方向へ向かっていく。目指しているのは筋肉質な強い会社であり、それを実現するのは社員一人ひとりです。

当社グループは1929年の創業以来ブレーキをつくり続けてきた歴史のある会社です。自動車用のブレーキを中心として、鉄道、産業機械といった、あらゆる動くものを止めるブレーキを世の中に送り出してきました。一朝一夕では築きあげることができない高い技術力を持っています。この技術力を礎に、世界中に安全と安心を提供していきます。

これらの目標の実現とその先の将来の持続的な成長に向け、当社グループはスピードを上げて邁進してまいります。

曙ブレーキ工業株式会社
代表取締役社長 CEO　長岡 宏



お客様のご要望にお応えするために、私たちは開発から製造まで最善を追求し続けています。

akebonoは「お客様ニーズ」と「社会ニーズ」に応えていきます。

akebonoは独立系ブレーキ専業メーカーとして、世界中のお客様に安全と安心を提供しています。コンパクトカー向けからハイパフォーマンスカー向けまで、さまざまなカテゴリーの製品を開発・製造。多様な分野への展開とともに、次世代技術の開発に注力することで、安全・安心な社会づくりに寄与していきます。

200km/hを超える高速走行から急ブレーキをかけ、ブレーキの性能を評価・検証

開発・実験設備

高性能ダイナモメーターの導入により、過酷な条件下での走行をシミュレーションすることが可能となりました。ダイナモでは、速度のみならず、温度や風速などの走行環境を変えることができ、お客様の様々な要求に応える環境を再現することができます。回転しているローターにかかるブレーキパッドの面圧を解析することも可能となり、ブレーキパッドの偏摩耗を防ぐなど、ブレーキの制動力に直結する解析技術の向上に大きく貢献しています。

独立系総合ブレーキメーカーakebonoのラインナップ

akebonoは総合ブレーキメーカーとして、ディスクブレーキパッドやドラムブレーキライニングなどの摩擦材、ディスクブレーキ、ドラムブレーキなどの機構部品を開発、製造しています。

自動車用製品

高性能量販車用
6ポットブレーキキャリパー

高性能量販車用
10ポットブレーキキャリパー

高性能車用
10ポットブレーキキャリパー

乗用車用
フローティングタイプ
ディスクブレーキ

オポーズドタイプ
ディスクブレーキ

商用車用
フローティングタイプ
ディスクブレーキ

耐久レース用
ブレーキキャリパー

耐久レース用
ブレーキキャリパー

乗用車用
ドラムブレーキ

商用車用
ドラムブレーキ

ディスクブレーキパッド

ドラムブレーキ
ライニング

高性能量販車用
6ポットブレーキパッド

高性能量販車用
10ポットブレーキパッド

耐久レース用
ブレーキパッド

独立系総合ブレーキメーカーakebonoのラインナップ

akebonoは、自動二輪車、鉄道車両、産業機械など、幅広い分野のブレーキ製品を製造しています。
さらに、ブレーキの振動解析技術を活かしたセンサー製品も開発・製造しています。

自動二輪車用製品

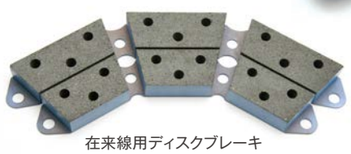
自動二輪車用
ブレーキキャリパー

自動二輪車用
マスターシリンダー

鉄道車両用製品

新幹線用
ディスクブレーキ

新幹線用等面圧
ディスクブレーキライニング



在来線用ディスクブレーキ
ライニング

地下鉄用
ディスクブレーキライニング

鉄道車両用制輪子

産業機械用製品

フォークリフト用
ドラムブレーキ

カーエアコン用
クラッチフェーシング

ラフテレーンクレーン用
ディスクブレーキ

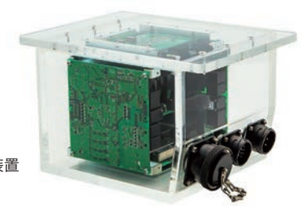
エレベーター用ブレーキシュー

補修品

ブレーキパッド
（アフターマーケット製品）

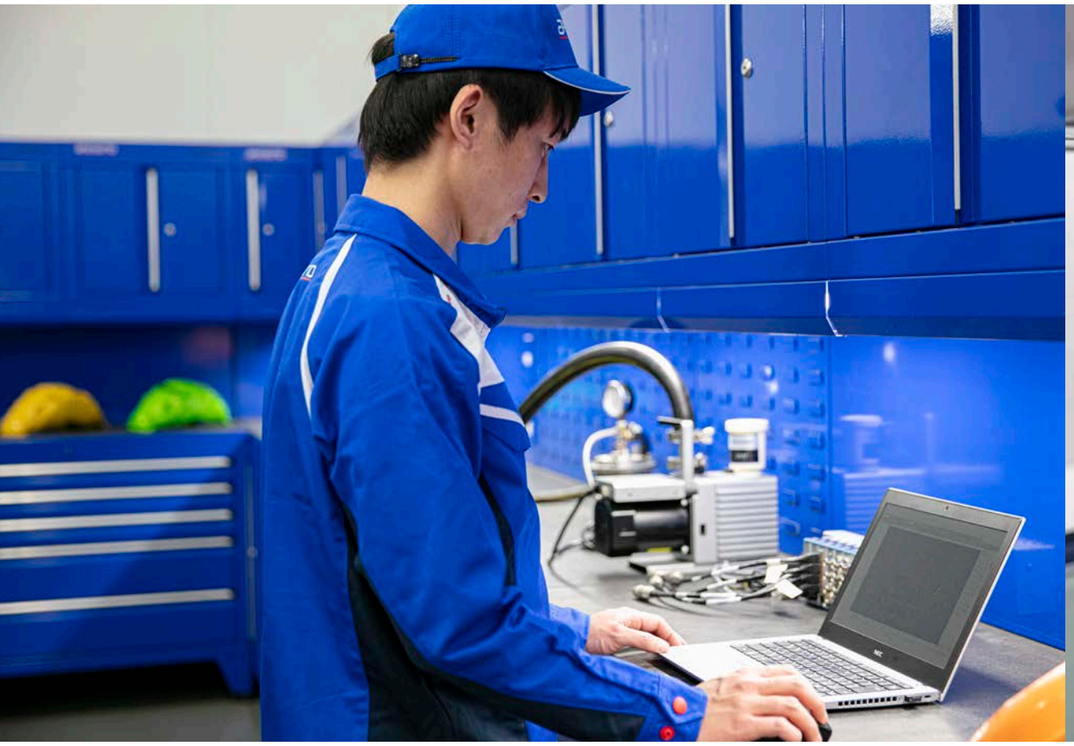
センサー製品

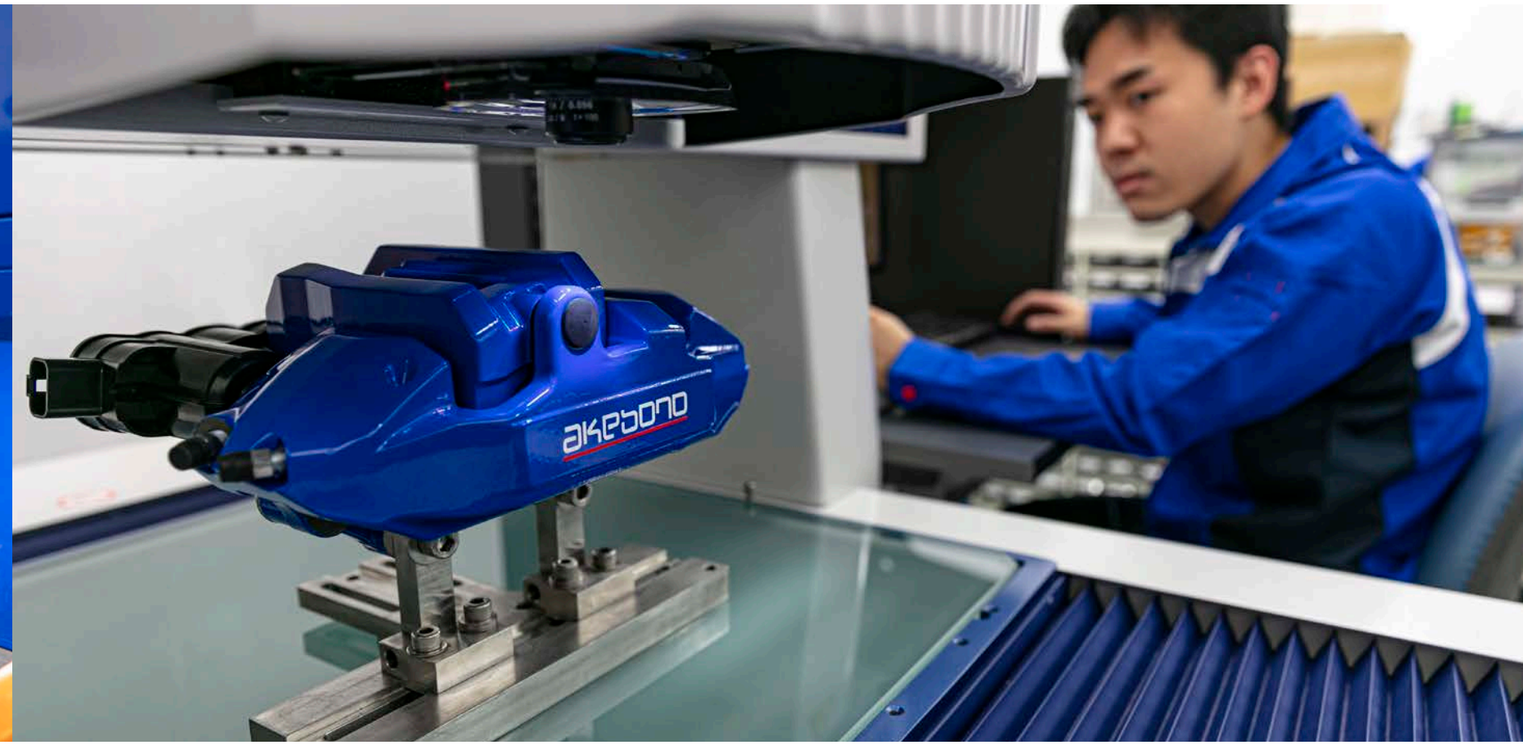
センサー
クラスター



車両挙動監視装置
（鉄道車両用）

脱線検知装置
（鉄道車両用）





求められることの、さらにその先へ向かう。チャレンジすることこそが私たちの提案です。

理想を実現するために、さらに過酷なフィールドを求めて。

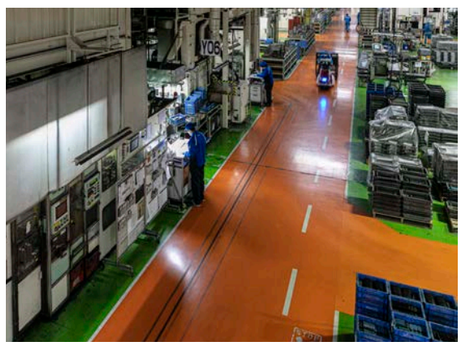
akebonoはブレーキのエキスパートを目指し、2002年にモータースポーツへの挑戦をスタートさせました。2007年にはF1へのブレーキ供給も開始。F1をはじめとしたモータースポーツへの挑戦は、akebonoの技術力向上とエンジニアの育成に大きく寄与してきました。F1への挑戦が高性能車向けブレーキの開発や採用にもつながり、市販の量産車の技術レベル向上にもつながっています。

−70℃～150℃の環境を再現できる環境槽

常に根底に流れるチャレンジ精神とともに次世代へ。

加速する自動車の電動化や自動運転化に対応すべく、電動ブレーキの開発に注力しています。akebonoは、1つのモーター出力を2つのピストンに伝達できる独自構造の中･小型トラック用電動パーキングブレーキを開発しました。また、高性能車用ブレーキの開発で培ってきた技術を活かして、スポーツタイプの電気自動車用にオポーズドタイプ電動パーキングブレーキキャリパーも開発し、量産を開始しました。

生産に関わるすべてのシーンに、さらに向上するきっかけがあると私たちは考えています。



安全と品質を担保し生産性を向上させ「原価低減」「人財育成」へ。

akebonoは、各生産拠点で「S（Safety:安全）」「Q（Quality:品質）」「D（Delivery:納期）」「C（Cost:コスト）」「E（Environment:環境）」を向上させる活動に取り組んできました。この活動は「安全と品質を確保しながら、納期厳守や原価低減を実現し、人財育成につなげる」という考え方を基本としています。今後は「全社SQDCE活動」として、akebono全体の競争力向上に向けて、全社で活動を推進していきます。

真摯に向き合い本質的な解決を目指す「5ゲン主義」。

2019年に発足した新体制の下、akebonoは、5ゲン主義（現地 現物 現認 原理 原則）の実践を目指しています。何か問題があれば「現地」「現物」「現認」で確認し、問題を解決しなければならない。問題と真摯に向き合い本質的な解決を目指す。次に何が起こるか予測するために「原理」を追及する。社員一人ひとりが「原則」をしっかり守って行動する。akebonoは、全ての業務において5ゲン主義を実践していきます。

さらなる品質の向上や次世代への積極的な対応など、私たちは常にその先を目指していきます。

環境負荷低減に向けた積極的な取り組みを実施。

akebonoでは、2016年より摩耗粉測定技術に取り組み始め、摩耗粉をほぼ全て捕集する技術、摩耗粉の量、粒子の大きさの分布測定技術の開発を完了しています。2020年には日本自動車技術会規格（JASO）によって行われた測定技術の標準化活動を先導しました。今後も、この技術を活用した摩擦材開発を進め、環境負荷低減に積極的に取り組んでいきます。

企業としての社会的責任に正面から取り組む。

akebonoは、次世代製品開発として、製造過程でのCO_2発生量を従来比で50%削減できるブレーキパッドを開発しました。製造時間を50%以下に短縮し、さらには、ブレーキを作動させたときに発生するブレーキ摩耗粉の量も低減できるブレーキパッドです。今後は製品化に向けさらなる取り組みを進めていきます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

取り組みの詳細に関しては、こちらをご確認ください。

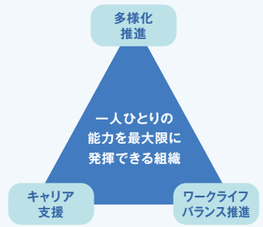
人事制度	社員の状況	健康経営
WEB	WEB	WEB

人事基本方針

「会社を成功に導く最も重要なファクターは『人財（社員）』である」という考えのもと、「社員一人ひとりに機会を提供し、会社の成功を共に分かち合える社員を支え続けていくこと」を基本方針として、「個の確立」と「相互の尊敬と信頼」を基盤に、グローバルでの長期人事政策の構築を目指しています。

ダイバーシティ･マネジメント

akebonoのダイバーシティ･マネジメントは、『多様化推進』、『キャリア支援』、『ワークライフバランス推進』を3つの基本テーマとして、社員一人ひとりの能力を最大限に発揮できる組織づくりを行い、新たな価値創造と企業価値の向上に結びつけることを目標にしています。



会社が一人ひとりを支える。一人ひとりが会社を支える。モノづくりは人づくりです。

女性活躍推進「えるぼし認定」を取得

akebonoは女性を含むすべての社員がいきいきと働ける企業を目指し取り組みを続けており、2016年には、「えるぼし認定※（3段階目）」を受けました。えるぼし認定制度は、女性活躍推進法に基づいて行動計画の策定と策定内容の届出を行った事業主のうち、女性の活躍推進に関する取り組みの実施状況などが優良な事業主が、都道府県労働局への申請により、厚生労働大臣の認定を受けることができる制度です。

※女性活躍推進法に基づく「基準適合一般事業主」認定の公式愛称

次世代育成支援認定マーク「くるみん」3回目の取得

akebonoは、2016年に埼玉労働局から「次世代育成支援対策推進法」に基づく「子育てサポート企業」として認定を受け、次世代育成支援認定マーク「くるみん」マークを取得しました。2007年11月、2013年6月にも認定を受けており、2016年で3回目の「くるみん」マーク取得となります。

健康経営

akebonoは、「働き方改革」「心身両面の健康促進」「健康意識向上」を3本柱に健康経営推進に取り組んでいます。全社一体となった健康づくり活動により、2025年には、「健康経営優良法人2025（大規模法人部門）」の認定を受けました。これは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する制度で、今回は8年連続8回目の認定となります。

事業所内保育所「あけぼの保育園」（Ai-Kids）

2018年に開園した「あけぼの保育園」は、「働き方改革」の一環及び社員の福利厚生の充実、また地域社会への貢献を目的として設立されました。

研修センター「Ai-Village」

研修センター「Ai-Village」は、Ai-City（本社）に2012年に建設されました。グローバル人財の創出を目的として、様々な研修が行われています。現在は、集合研修とオンライン研修の両輪で、研修のさらなる充実を実現しています。

障がい者の雇用（あけぼの123）

akebonoの特例子会社、あけぼの123（株）では、「社員に人として自立してもらう」という理念のもと、障がい者が仕事を通じて成長できる職場づくりに取り組んでいます。障がい者の雇用やその能力を活かした職場づくりを積極的に取り組んでいることが評価され、2007年4月以来「埼玉県障害者雇用優良事業所」として6期連続認証されています。

Global Operations

欧州

高性能ブレーキ

1. Akebono Europe GmbH
2. Akebono Brake Slovakia s.r.o.
   - 高性能ブレーキ

北米

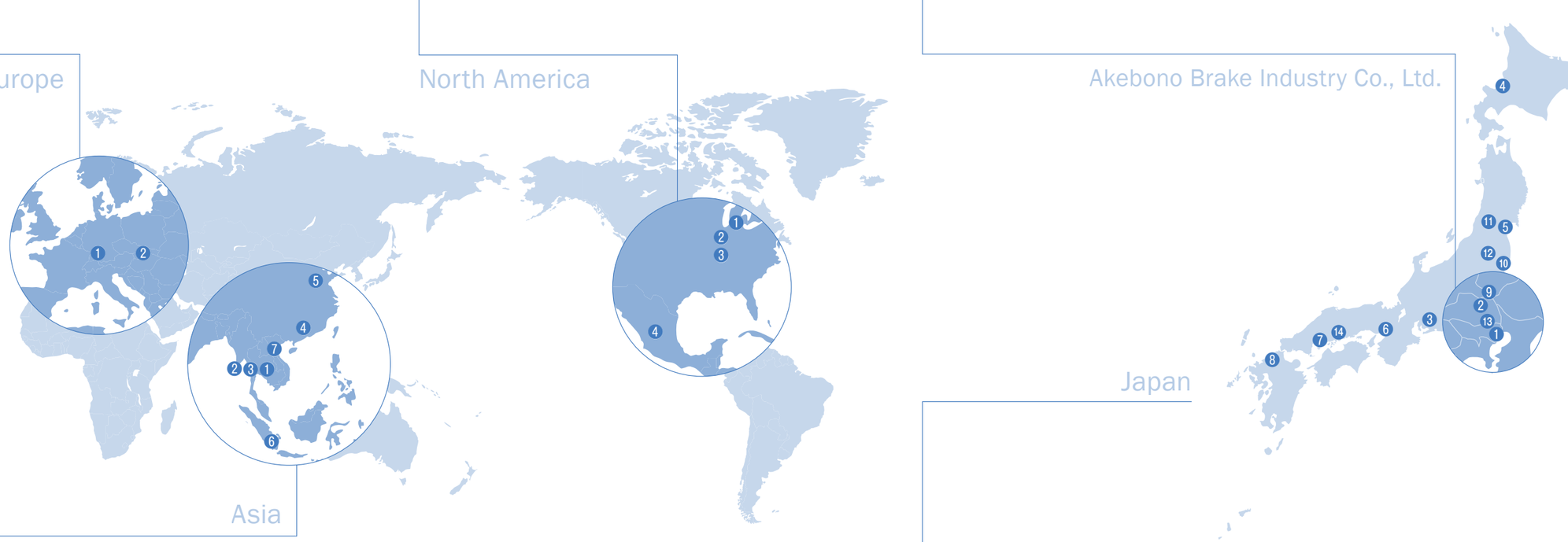
ディスクブレーキ　ドラムブレーキ　ブレーキパッド

1. Akebono Brake Corporation（北米本社）
1. Akebono Engineering Center（研究開発）
2. Akebono Brake Corporation (Elizabethtown)
   （北米本社機能、販売、マーケティング）
2. Akebono Brake, Elizabethtown Plant
   - ディスクブレーキ
   - ドラムブレーキ
   - 高性能ブレーキ
3. Akebono Brake, Glasgow Plant
   - ブレーキパッド
4. Akebono Brake Mexico S.A. de C.V.
   - ディスクブレーキ
   - ドラムブレーキ

曙ブレーキ工業（株）

鋳物　高性能ブレーキ

1. 本店（グローバル本社）
2. Ai-City（本社）
3. 中部オフィス
4. 札幌営業所
5. 仙台営業所
2. 関東営業所
1. 首都圏営業所
6. 大阪営業所
7. 広島営業所
8. 福岡営業所
9. 館林鋳造所
   - 鋳物
2. HP製造部
   - 高性能ブレーキ
10. Ai-Ring（テストコース）
2. Ai-Village（グローバル研修センター）
2. Ai-Museum（ブレーキ博物館）



アジア

ディスクブレーキ　ドラムブレーキ　ブレーキパッド　ブレーキライニング　二輪ディスクブレーキ　二輪マスターシリンダー　鋳物

1. Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd.
   - ディスクブレーキ
   - ブレーキパッド
2. A&M Casting (Thailand) Co., Ltd.
   - 鋳物
3. Akebono Cooperation (Thailand) Co., Ltd.
4. 広州曙光制動器有限公司 Akebono Corporation (Guangzhou)
   - ディスクブレーキ
   - ドラムブレーキ
5. 曙光制動器（蘇州）有限公司 Akebono Corporation (Suzhou)
   - ブレーキパッド
6. PT. Akebono Brake Astra Indonesia
   - ディスクブレーキ
   - ドラムブレーキ
   - ブレーキパッド
   - ブレーキライニング
   - 二輪ディスクブレーキ
   - 二輪マスターシリンダー
7. Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd.
   - 二輪ディスクブレーキ
   - 二輪マスターシリンダー

日本

ディスクブレーキ　ドラムブレーキ　ブレーキパッド　ブレーキライニング　新幹線ディスクブレーキ　クラッチフェーシング

11. 曙ブレーキ 山形製造（株）
    - ブレーキパッド
    - クラッチフェーシング
12. 曙ブレーキ 福島製造（株）
    - ブレーキライニング
    - クラッチフェーシング
13. 曙ブレーキ 岩槻製造（株）
    - ディスクブレーキ
    - 新幹線ディスクブレーキ
14. 曙ブレーキ 山陽製造（株）
    - ドラムブレーキ
    - ホイールシリンダー

13. （株）アロックス
2. あけぼの123（株）（特例子会社）
2. （株）アケボノキッズケア（保育所）

会社概要

商号	曙ブレーキ工業株式会社
本店（グローバル本社）	〒103-8534 東京都中央区日本橋室町1丁目13番7号 PMO日本橋室町5F 03-5299-7621（代表） MAP
Ai-City（本社）	〒348-8508 埼玉県羽生市東5丁目4番地71号 048-560-1500（大代表） MAP
創業	1929年（昭和4年）1月27日
設立	1936年（昭和11年）1月25日
資本金	199億円（2025年3月末現在）
売上高（連結）	1,617億円（2024年度）
従業員数（連結）	5,351名（2025年3月末現在）

役員一覧

2025年4月1日現在

取締役

代表取締役
長岡 宏

取締役
安藤 昌明

社外取締役
駒形 崇

社外取締役（監査等委員）
丹治 宏彰

社外取締役（監査等委員）
廣本 裕一

社外取締役（監査等委員）
三代 洋右

社外取締役（監査等委員）
河本 茂行

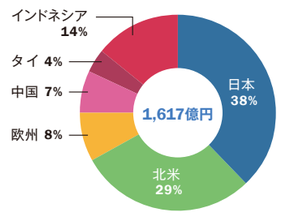
執行役員

社長 CEO	長岡 宏
執行役員 COO	安藤 昌明
執行役員	西村 誠司
執行役員	渡邉 高夫
執行役員	石田 憲英
執行役員	前上 亮子

※CEO（Chief Executive Officer）、COO（Chief Operating Officer）

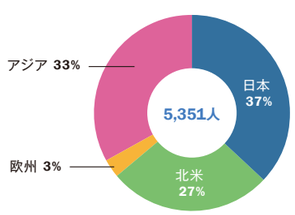
売上高比率・社員数比率

地域別売上高比率



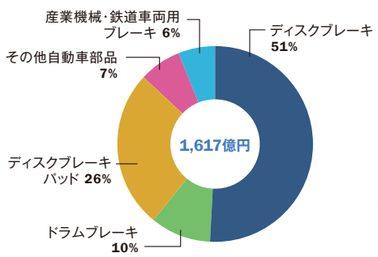
2025年3月期（2024年度）

地域別社員数比率



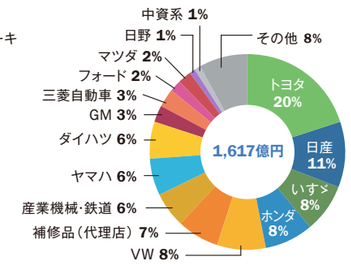
2025年3月末現在

製品別売上高比率



2025年3月期（2024年度）

お客様別売上高比率



2025年3月期（2024年度）

沿革

1929年 曙石綿工業所を創業、
ウーブンブレーキライニング、クラッチフェーシングの製造開始
1936年 曙石綿工業（株）を設立
1939年 羽生製造所建設、稼働開始
1960年 曙ブレーキ工業（株）に改称
米国ベンディックス社とブレーキに関する技術援助契約を締結
1961年 東京証券取引所市場第二部に上場
1962年 岩槻製造所建設、稼働開始（現 曙ブレーキ岩槻製造（株））
1965年 豊田工業（株）、三菱重工業（株）と共同出資で
山陽ブレーキ工業（株）を設立（現 曙ブレーキ山陽製造（株））
1971年 福島製造所建設、稼働開始（現 曙ブレーキ福島製造（株））
1979年 岩槻製造所、AD型ディスクブレーキの量産を開始
1982年 AD型ディスクブレーキ「昭和56年度日本機械学会賞」受賞
1983年 東京証券取引所市場第一部に上場
1986年 米国GM社との合弁会社 Ambrake Corporation を設立
（現 Akebono Brake, Elizabethtown Plant）
1988年 テストコース「曙ブレーキ・ブルービング・グラウンド」完成
（福島県いわき市）（現 Ai-Ring）
1992年 曙ブレーキ山形製造（株）を設立
1994年 米国現地法人 Amak Brake L.L.C. を設立
（現:Akebono Brake, Glasgow Plant）
1996年 インドネシア PT. Tri Dharma Wisesa に資本参加
（現 PT. Akebono Brake Astra Indonesia）
1998年 米国現地法人 Akebono Corporation（North America）を設立
（現 Akebono Brake Corporation）
2001年 本社新社屋「Akebono Crystal Wing（ACW）」竣工
2003年 あけぼの123（株）を設立
2004年 ドイツ現地法人 Akebono Europe GmbH を設立
ブレーキ博物館「Ai-Museum」完成
中国現地法人 広州曙光制動器有限公司、曙光制動器（蘇州）有限公司を設立
2006年 タイ現地法人 Akebono Brake (Thailand) Co., Ltd. を設立
2007年 F1に新規参戦、マクラーレンチームのオフィシャルサプライヤーになる
2008年 館林鋳造所稼働開始
2011年 ベトナム現地法人 Akebono Brake Astra Vietnam Co., Ltd. を設立
2012年 メキシコ現地法人 Akebono Brake Mexico S.A. de C.V. を設立
2014年 スロバキア現地法人 Akebono Brake Slovakia s.r.o. を設立
タイに（株）真岡製作所との合弁会社
A&M Casting (Thailand) Co., Ltd.を設立
2016年 「市販ロードカー用高性能自動車ブレーキの開発と量産化」において
「日本機械学会賞（技術）」を受賞
2018年 （株）アケボノキッズケアを設立し、あけぼの保育園（Ai-Kids）を開園
2019年 タイ現地法人 Akebono Cooperation (Thailand) Co., Ltd. を設立
事業再生ADR手続申込・受理
2022年 東京証券取引所の市場区分の見直しにより市場第一部からプライム市場へ移行
耐久レース用ブレーキキャリパー「NR22」が2022年度グッドデザイン賞を受賞
2024年 「中小型トラック用電動パーキングブレーキのモータギヤユニット開発」において
「日本機械学会賞（技術）」を受賞
事業再生計画期間終了